



2020年8月28日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田島秀二
 (コード番号: 7707 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役総務部長 田中英樹
 (TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

新中期事業計画（2021年6月期～2023年6月期）策定のお知らせ

当社は、このたび、2018年8月27日に発表した三ヶ年中期事業計画について現状の事業の進捗と取り巻く事業環境を鑑みて見直しを行い、新たに中期事業計画を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 新中期事業計画の方針と戦略的事業テーマ

1) 既存 OEM 取引の深耕及び新規 OEM 契約の獲得、2) 自社製品のラインアップの充実と販売強化、
 3) 試薬・消耗品ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上にて、その中で当期より戦略的に推進する事業テーマとしては①製品製造拡大のための大館第2工場の設立、②医療診断システム (geneLEAD シリーズ) としての製品品質向上/新規機能導入、③PCR (診断) 試薬事業の推進を掲げています。

2. 中期事業計画の内容 (別添資料: 2020年度6月期 事業説明参照)

- 事業拡大 社会貢献のためのテーマ
- 新規事業内容
- 2020/6 期業績概況と三ヶ年中期事業計画の業績推移

3. 数値目標

(単位: 百万円)

	2020年6月期 (実績)	2021年6月期 (予想)	2022年6月期 (計画)	2023年6月期 (計画)
売上高	5,067	7,700	8,800	10,000
営業利益	△82	500	750	1,000

*為替レートは、1ドル=110円、1ユーロ=120円を前提とします。

注) 本資料に記載する計画数値は、現時点において入手可能な情報に基づき、独自の判断により作成したものでありますが、実際の業績は、今後さまざまな要因によって計画数値と異なる場合があります。

以上



2020年度6月期 事業説明

Precision System Science Co.,Ltd.

2020.8.28

長年取り組んできたPSSオリジナル技術を
集積したシステムがCOVID-19対策に実用された

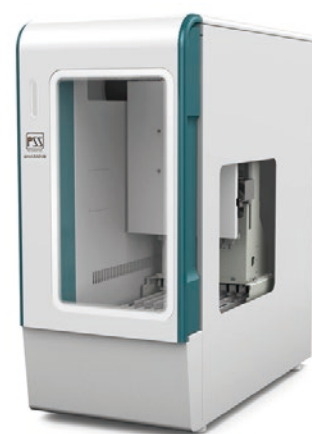
Magtration
(磁性体ビーズ)

プレフィルド
カートリッジ試薬

“Simple is Best”
システムコンセプト



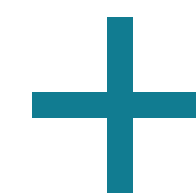
geneLEAD XII plus



geneLEAD VIII



geneLEAD XXIV



PCR 試薬
販売事業への参入



- 01. 事業拡大 社会貢献のためのテーマ
- 02. 新規事業内容
- 03. 業績推移



01

事業拡大

社会貢献のためのテーマ

COVID-19対策を中核とした新規事業計画の立案推進



第2次量産計画

サプライチェーン対策費の活用
大館に第2工場を設立予定



装置

2~3倍 ↗

DNA抽出試薬

4~5倍 ↗

プラスチック消耗品

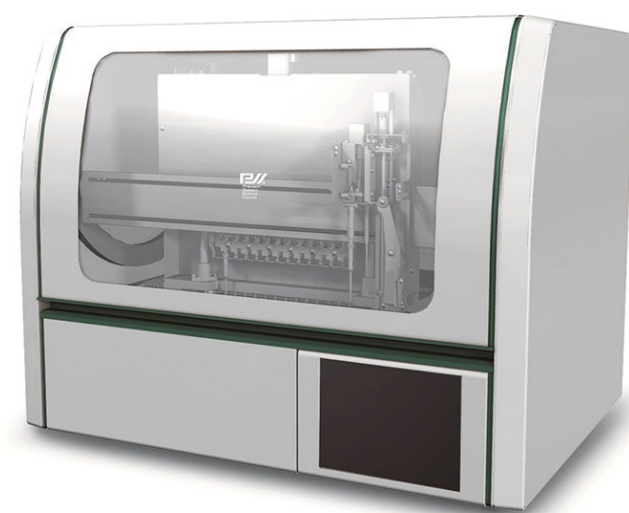
4~5倍 ↗

01

事業拡大
社会貢献のためのテーマ



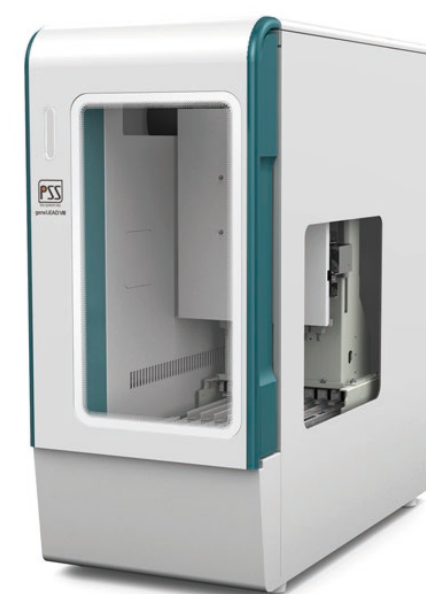
全自動PCR検査システム geneLEAD 3機種 の活用と新機能の導入



geneLEAD XII plus

だ液サンプリング

プーリング



geneLEAD VIII

だ液サンプリング

リオフィライズカートリッジ



開発中製品

※年内上市予定

geneLEAD XXIV

だ液サンプリング

プーリング

リオフィライズカートリッジ

geneLEAD XXIVですべての新機能に対応

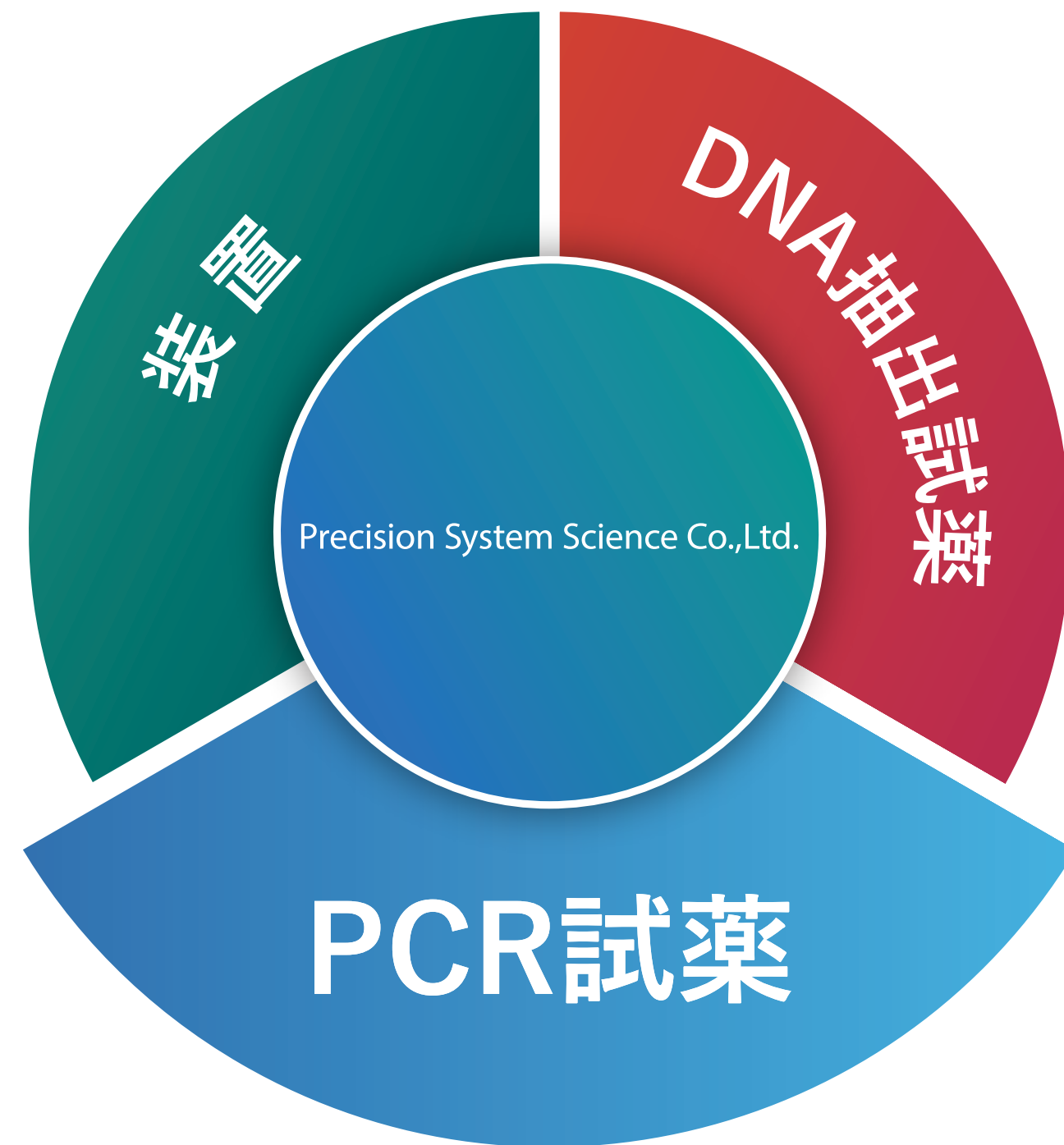
01

事業拡大

社会貢献のためのテーマ



PCR試薬販売事業推進 (新規事業)



PSS中核事業として注力
(COVID-19 認可承認済)

ELITechGroup
EMPOWERING IVD

液状

CerTest BIOTEC

リオフィライズ

の **性能、特徴を生かした販売計画推進**

■ 将来は...

COVID-19

+

重篤感染症

+

がん細胞変異
早期発見



PSSグループERPによる事業運営改善

開発

生産

販売

の合理化



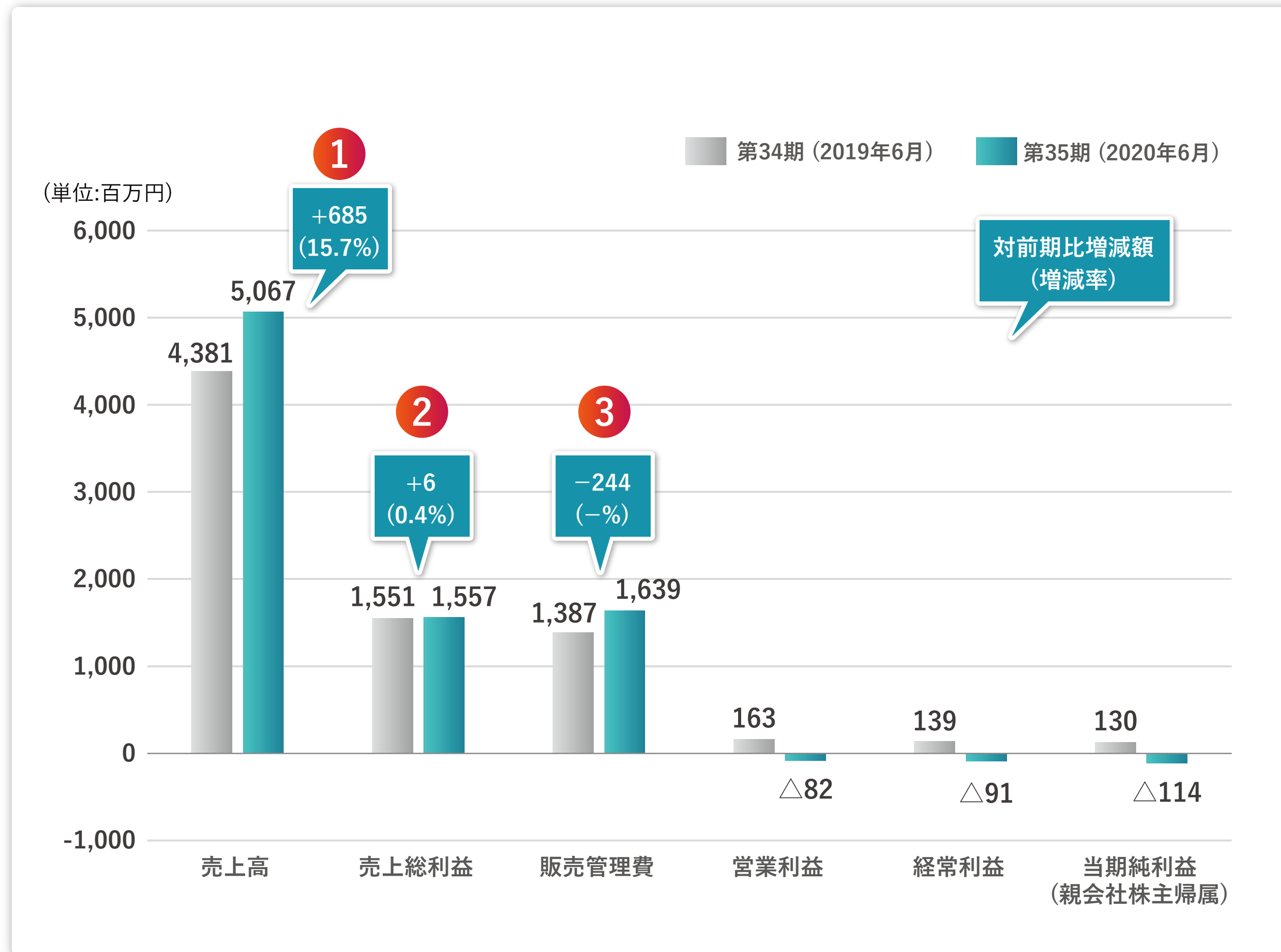
利益拡大

02

新規事業内容

第35期(2020/6)連結業績

連結業績は、前期比増収なるも、積極的な設備投資と製品開発投資により業績は赤字となりました。



前期(2019/6)業績比

1 売上高の増収

世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」確定迅速検査の需要に対応するために、全自動PCR検査装置や、DNA自動抽出装置及びそれらに付属する消耗品(抽出試薬、プラスチック消耗品)の販売は好調に推移しました。

2 売上総利益はほぼ前期並み

試薬量産コストダウンの積極的な設備投資により減価償却費が増加したこと、見込んでいた受注開発案件が獲得できなかったこと等によりほぼ前期比並みとなりました。

3 販売管理費は増加

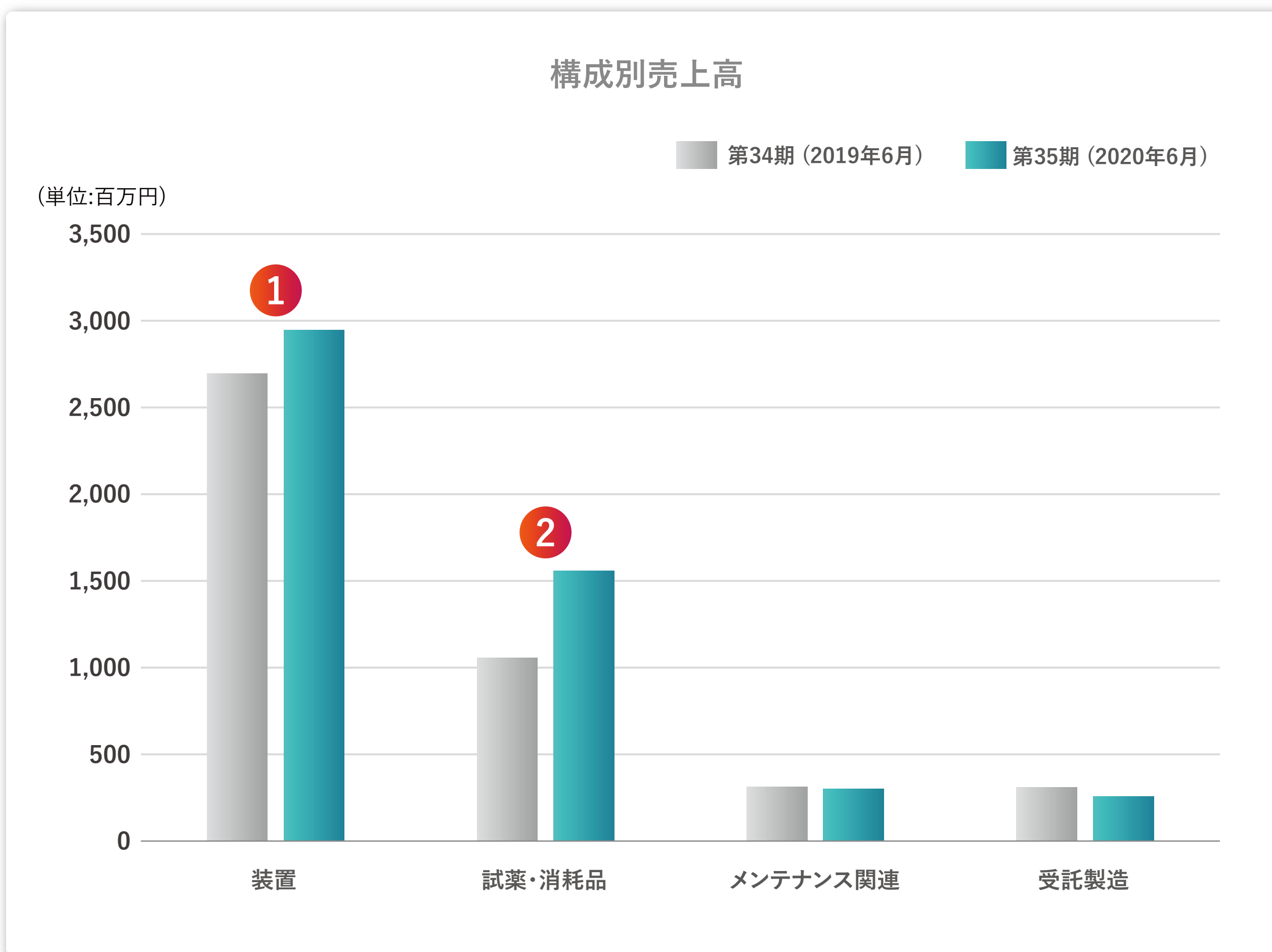
研究開発費は全自動PCR検査システムの応用開発費用等もあり、研究開発費は522百万円(前年同期比38.4%増)と増加したこと等によるものです。



第35期(2020/6)連結業績 (構成別売上)

03

業績推移



1 装置売上高の増収

売上高は2,947百万円(前年同期比9.3%増)となりました。特に、エリテック社向け全自動PCR検査装置の販売は好調であり、増収となりました。

2 試薬・消耗品売上高の増収

売上高は1,559百万円(前年同期比47.3%増)となりました。特に世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」確定迅速検査の急増する需要に対応するための増産により、前年同期比で増収となりました。



新中期事業計画

(2021年6月期～2023年6月期)のポイント)

■ 中期事業計画の方針としては、

- 1) 既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得、
- 2) 自社製品のラインアップの充実と販売強化、
- 3) 試薬・消耗品ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げており、



■ 第36期における戦略的に推進する事業テーマとしては

- ① 製品製造拡大のための大館第2工場の設立
- ② 医療診断システム(geneLEADシリーズ)としての製品品質向上/新規機能導入
- ③ PCR(診断)試薬事業の推進

を掲げています。

03

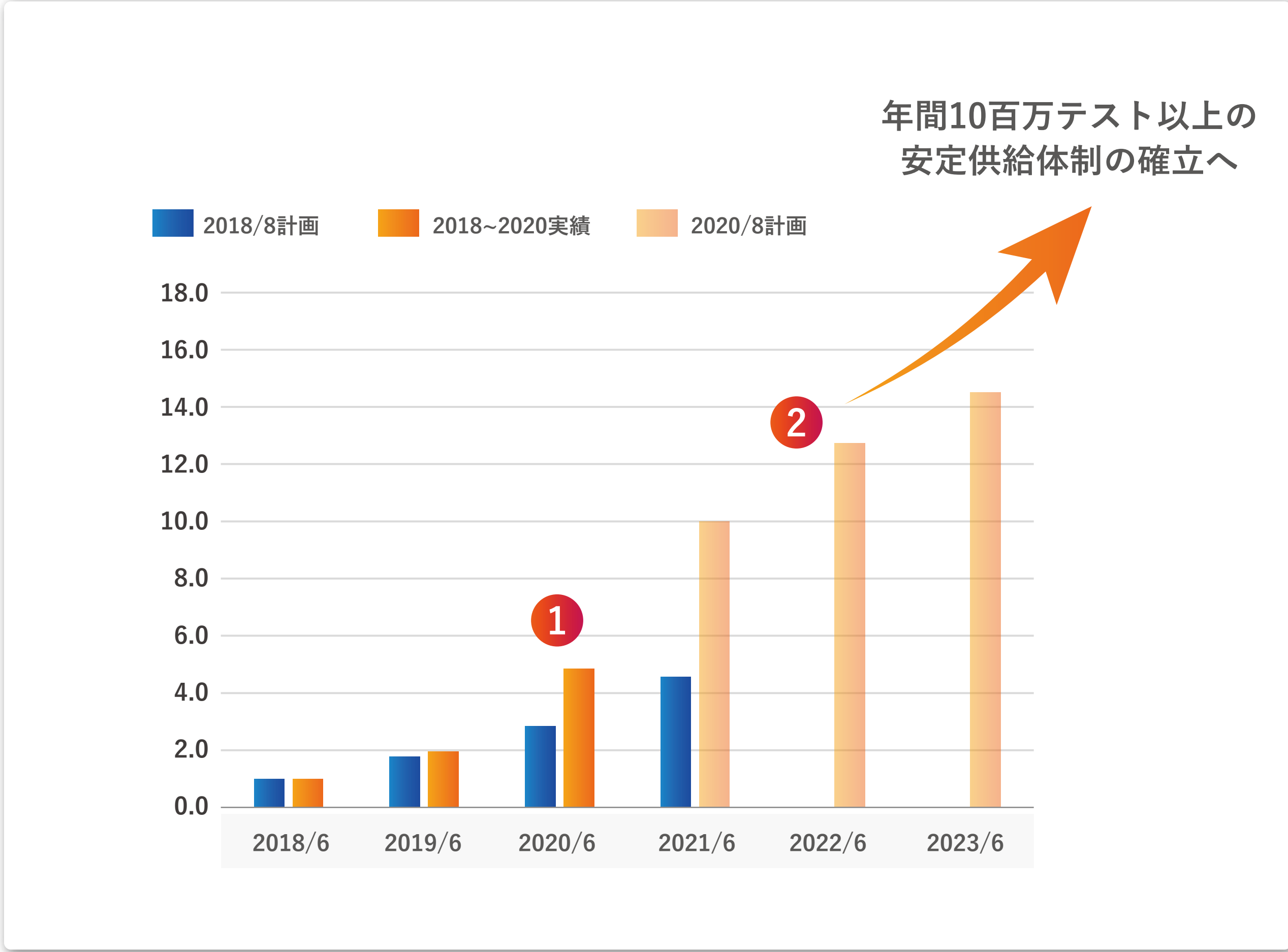
業績推移



大館試薬センター プレフィルドカートリッジ試薬製造数推移 (2018/6の製造数を1とした場合)

03

業績推移



1 当初計画製造数は達成

2018/8に計画をした4倍の製造数は1年前倒しで達成したため、2020/8に新たに中期事業計画を策定して、3年で更に3倍の製造数を見込んでいる。

2 大館第2工場を開設して安定供給体制を確立

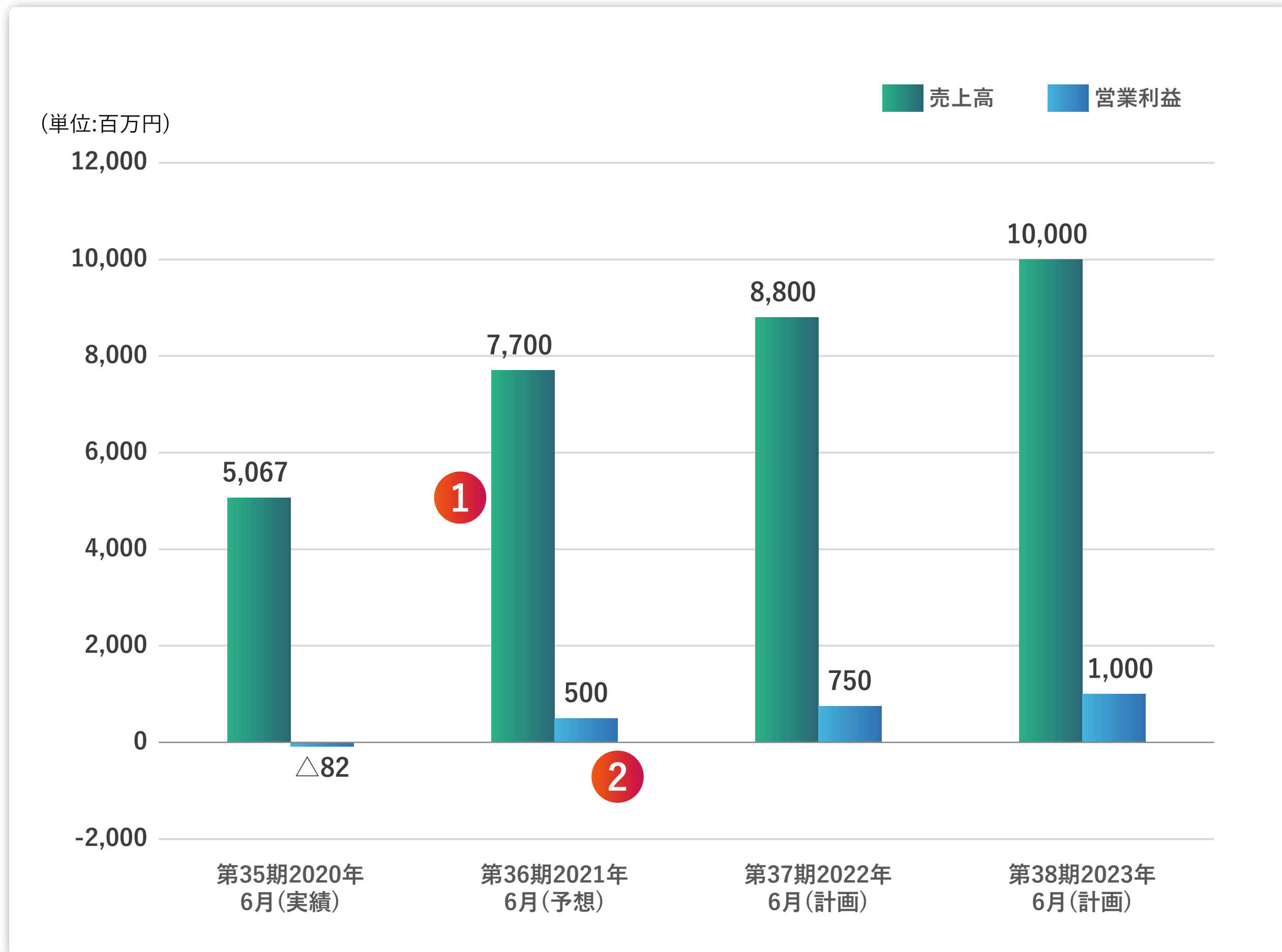
2022/7以降の本格的稼働により日本を含めた全世界への安定供給体制の確立するための、国産化、サプライチェーン体制を日本国内に構築する。



新中期事業計画(2021年6月期～2023年6月期)策定

03

業績推移



1 大幅な増収の見込み

COVID-19をはじめ重篤感染症の脅威から掛け替えのない人命や経済を守るためPCR検査体制の構築を目指し、最新の製品販売計画及び製品供給能力を鑑みて、2021年6月の売上高は7,700百万円(前年同期比51.9%増)にて大幅な増収となる見通しです。

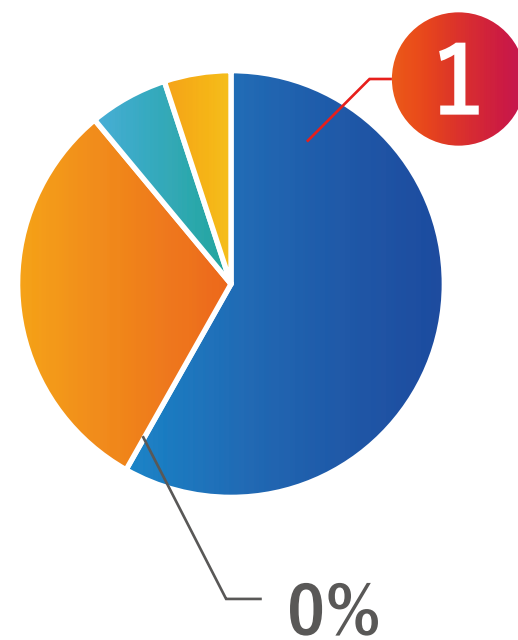
2 収益を確保しつつ事業拡大のための積極的な投資

PCR検査体制の構築への対応に向けた積極的な設備投資とgeneLEAD24等の短期間の製品応用開発投資を継続して行いつつも、営業利益は確保する見込みです。

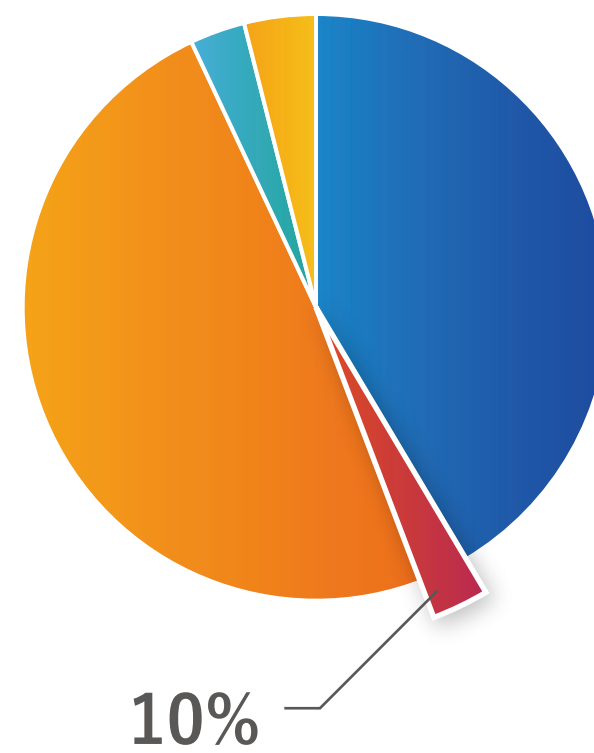


新中期事業計画(2021年6月期～2023年6月期)策定 売上構成比の推移

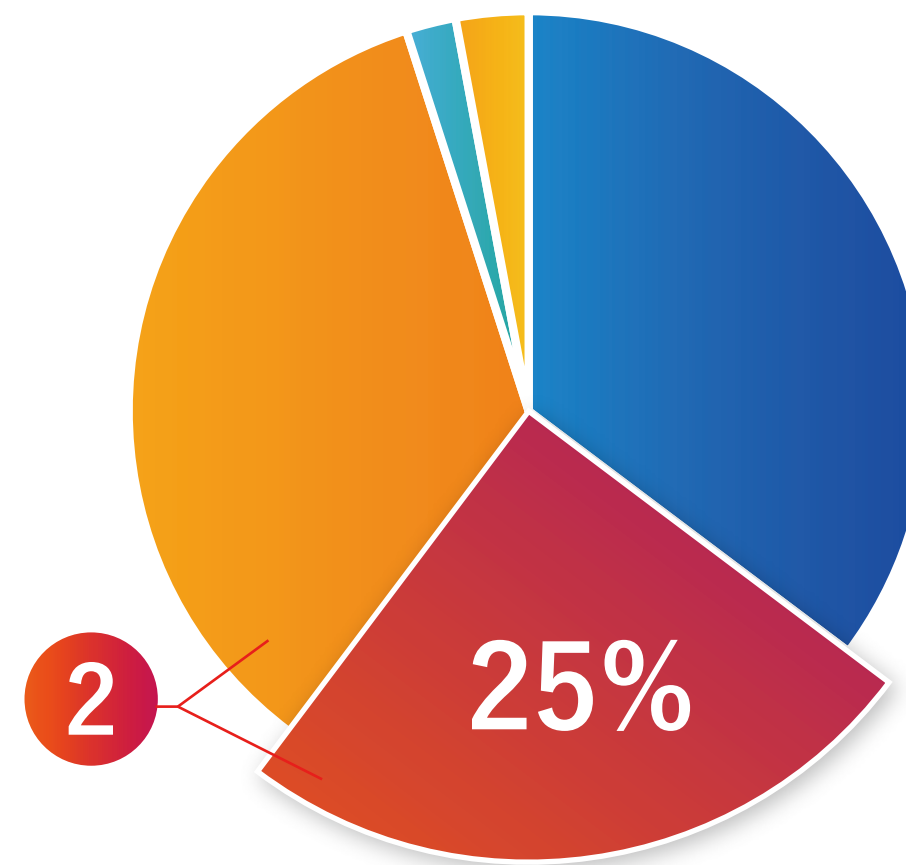
第35期売上構成比
2020年6月



第36期売上構成比
2021年6月



第38期売上構成比
2023年6月



■ 装置 ■ PCR試薬 ■ DNA抽出試薬・消耗品 ■ メンテナンス関連 ■ 受託製造

① 自動化装置主体の売上構成

全自動PCR検査システム(geneLEADシリーズ)だけではなく、PCR検査の前処理にて煩雑な手作業を解消したいユーザーニーズに対応したDNA(核酸)抽出自動化装置(magLEADシリーズ)の販売は数多くの引き合いを受けています。

② 試薬・消耗品主体の売上構成

大館試薬センター プレフィルドカートリッジ試薬製造数増加に伴いDNA抽出試薬と全自動PCR検査装置販売国内販売に伴うPCR試薬の販売増加が期待されています。

03

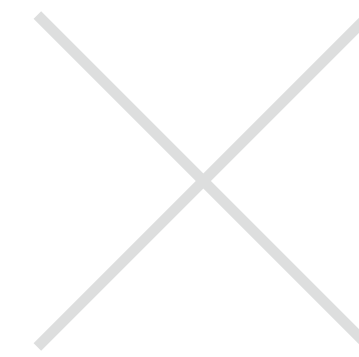
業績推移



日本PSSシステムモデルを海外にも展開

機器

geneLEADシリーズ
(VIII XII XXIV)



試薬

PCR試薬オープン
提携による項目品揃え



統合事業の確立

Precision System Science Co.,Ltd.